

みんなの広場

PATIOとは「中庭」という意味。
町民の皆さんが集い、自由に意見を語り合う広場です。

ひとこと

たくさん笑顔が見られるから好き

岡田勝司さん(明野)
広報おうらで好きなページは「フォトパレット」です。いろいろな人の笑顔が見られるので好きです。

邑楽町って、いいなーと改めて思えた日

吉田哲男さん(寺中)
産業祭でブルーベリーの木をゲット。模擬店で買い物しながら一日楽しめました。町外から来た人が「うらやましい」と言っていました。

マイナンバーがますます便利に

田中奈緒子さん(十三坊塚)
マイナンバーの本格運用が開始したことを知りました。広報おうらを読んで知ることができました。よかったです。

かわいい孫と一緒にハクチョウ観察へ

三田恵子さん(光善寺)
毎年、孫と一緒にハクチョウを見に行っています。今年も行きたいと思っています。

星に願いを……どんな願いを？

小林春男さん(前瀬戸宿)
12月14日の午前0時頃、双子座流星群を観ました。願い事が叶うといいですね。

中央公民館が完成したらあやうってこわやうって

大野千代子さん(水立大黒)
中央公民館の工事が進んでいますね。大部分が形になってきています。完成を楽しみにしています。

広報おうらにちよつと楽しみを
Photo Motto
はじめています。



KOHO 広報クイズ

問題の答えをはがきで送ってください。全問正解者の中から、抽選で10人に500円の図書カードをプレゼント。

- 【今月の問題】**
- 第1問 犬の彼女が演じた演目は〇〇太郎
A.うらしま B.もも
C.おかいこさん (ヒント表紙ページ)
- 第2問 長柄小学校3年生の作品が人気投票で〇〇
A.おかいこさん賞 B.第2位
C.優秀賞 (ヒント9ページ)
- 応募方法 はがきに、答え(例：第1問-A)・住所・行政区・名前・年齢・**ひとこと**を書いて郵送
- あて先 〒370-0692 邑楽町役場企画課「広報クイズ」係
締切 1月19日(金)(当日の消印有効)
※当選者は広報おうら2月号で発表します。
- 【12月号の当選者】**(応募数24通、全問正解4通)
※敬称略 原晴晴(16区) 松島百代(32区)
長道代(34区)
- 12月号のクイズの答えは、
【第1問 - B.情報連携 第2問 - A.まかせて会員】
でした。次回もたくさんのご応募お待ちしております。

情報板

- まちかど**
- イベント**
白鳥と自然ふれあひながら、温かい豚汁を！
—第16回白鳥まつり—
- 邑楽町白鳥を愛する会では白鳥まつりを開催します。白鳥が舞う優雅な姿や愛嬌たっぷりのカモなどが見られます。ぜひお出掛けください。
- ▼期日** 1月28日(日)
- ▼時間** 午前11時～午後1時
- ▼会場** ガバ沼駐車場(中野沼東側)
- ▼中野沼緑化センター、多々良沼公園の駐車場をご利用ください。**
- ▼内容** 白鳥観察、豚汁無料配布(数量限定)、地産地消協議会のご飯無料配布(数量限定)、スワンジャンパー来場
- ガバ沼の白鳥に与えるえさを募集**
表などがありましたらご協力ください。
- ▼問合せ先** 役場商工振興課 47-5026

県緑化センター主催講座	
講座名	第6回緑化講座
日時	2月8日(金)午前10時～正午
場所	県緑化センター
テーマ	カイツカイブキやキャラボクなど常緑針葉樹の整枝剪定
定員	60人(先着順)
申込開始	1月22日(日)
申込・問合せ先	県緑化センター 88-7188
講座名	第8回日曜緑化講座
日時	2月11日(日)午前10時～正午
場所	県緑化センター
テーマ	これだけは知っておきたいカキの上手な育て方
定員	60人(先着順)
申込開始	1月29日(日)
申込・問合せ先	県緑化センター 88-7188

シンボルタワー「未来MIRAI」のタワースペシャルコンサート第1弾

シンボルタワー「未来MIRAI」では、イルミネーションイベントを1月28日(日)まで開催中。同時にスペシャルコンサートを開催します。ぜひご来場ください。

▼日時 1月27日(土)午後7時～8時

▼会場 シンボルタワー「未来MIRAI」

▼内容 津軽三味線と民謡のコンサート ※温かい飲み物もあります。

▼出演 梅若梅秀、梅秀会社中


▼定員 60人(先着順)

▼入場チケット 一人1000円

▼入場チケット販売開始 1月10日(金)午前9時

※土・日曜日、祝日を除く、役場開庁時間に限る。

▼入場チケット販売・問合せ先 役場商工振興課 47-5026




わが家のアイドル
武田 亜里沙さん・怜くん(2歳8か月)
(秋妻・17区)

3人きょうだい末っ子の怜。お兄ちゃんが小学校、お姉ちゃんが幼稚園に行っている時間は、ママにべったり甘えん坊。いつもママと一緒にです。そんな怜が一変するのが、公園の遊具とたたかいごっこ。遊具は特に滑り台がお気に入り。たたかっているときは、テレビの戦隊ヒーロー気分パパを激しくやっつけます。怜には、優しさとかたくましさ兼ね備えた大人になってほしいと願っています。

DREAM 夢



星野 亜実さん 22歳
Hoshino Ami (下中野・1区)

- 現在何をしていますか？**
大学4年生です。今は卒論のために週3～4回は研究室に。いわゆる「リケジョ」です(笑)。
- 大学生生活での思い出は？**
入学後、保険委員会に所属。中高でいう、生徒会のような感じです。学生の朝食補助やスポーツテストの運営など貴重な経験ができました。それと、日本酒の開発に携わったことも。苦手な日本酒を試飲して、一生懸命開発。ちなみに銘柄は「Re:Start」です。
- いよいよ卒業が近づいてますが、就活はどうでしたか？**
無事に県内の小売業に就職予定。好きな接客業ができそうなので、今はワクワク。大学時代は接客業のバイトを掛け持ちしたことも(笑)。そのくらい接客業が好きです。それと、就職してからも息抜きの時間は大切にしたいな。18年続けているダンスもその一つ。それと、食べるのが好きなので、おいしいものを食べてリフレッシュも。いつか北海道に海鮮を食べに行くのが夢です(笑)。

無事に県内の小売業に就職予定。好きな接客業ができそうなので、今はワクワク。大学時代は接客業のバイトを掛け持ちしたことも(笑)。そのくらい接客業が好きです。それと、就職してからも息抜きの時間は大切にしたいな。18年続けているダンスもその一つ。それと、食べるのが好きなので、おいしいものを食べてリフレッシュも。いつか北海道に海鮮を食べに行くのが夢です(笑)。

●あて先 〒370-0692(住所は不要) 邑楽町役場企画課広報広聴係
☎ 47-5007 ☎ 89-0136 ✉ koho@swan.town.ora.gunma.jp
※誌上匿名はOKですが、記念品発送などに必要ですので、必ず実際の名前・住所・年齢・電話番号をお書き添えください。

俳句 文芸

草木は新年待ちて身固む
神谷公太郎 女子孫や夫は一人の温め酒

昨年今年知識を結び繰返す
神谷 文江 タワーより望む我が街御代の春

初暦今年の子定ぎつしりと
小林なみ子 指定席冬日を浴びて匂と遊ぶ

師走入り巡るは母の三回忌
福島 慶子 茶の花や洗濯物の良く乾き

七輪でお餅を焼いて春を待つ
戸ヶ崎貴信 霧の中一寸先みえぬ朝のもや

冬耕の農夫ときどきひとりごと
大川いく代 初鶉いつもの美声残しゆく

短歌

冬の朝ラジオ体操日課とし五百歩あるきて梅干し茶の味
大塚 博司 大樹なる花桃枯れぬ花を背に友と写やし去年のなつかし

折り紙でクリスマスツリー飽きもせずテーブルはまるでミニチュアの森
沼田とし子 茹で加減を誤らぬやふ妻仕上ぐ喉ごしのよし晦日そばかな

樹間より黄金きらきら炎の如く天照の神御降臨かも
持田 静江 成歳の千支が七度び巡り来て目出度くもありもう一巡り

年明けに壁に吊したカレンダー木枯らし吹きて師走が見える
壽命 秀次 老人のダンスパーティー輪になって上手も下手もいきいきと舞う

若者はニッカポッカを孕ませて足場組みゆく豹のごとくに
曾我 公子 玄関は人の顔なのつき母が語りて残す帯我が手に

紅葉ちる唐沢山の石段を登ればつきくる野良猫二ひき
遠藤 博道 橋本 俊幸 山崎 静子 島田 初美 菅谷千枝子

投稿募集

①イラスト・絵手紙 ②4コマ漫画 ③詩・ポエム ④短歌・俳句 ⑤告知コーナー (イベント案内やメンバー募集など)

ご質問・ご意見は、はがき・電話・FAX・Eメールなど、どんな方法でも結構です。掲載者には粗品を進呈します。



広報おうら
ORA TOWN
広告主募集中!!

町では「広報おうら」の紙面に
有料広告を掲載しています。
お得な割引制度もあります。
詳しくは…
企画課企画政策推進係まで
☎47-5009(直通) FAX 89-0136

申込月数	割引前	割引率	割引後
1か月	8,000円	なし	8,000円
2か月	16,000円		16,000円
3か月	24,000円	5%	22,800円
4か月	32,000円		30,400円
5か月	40,000円		38,000円
6か月	48,000円	10%	43,200円
7か月	56,000円		50,400円
8か月	64,000円		57,600円
9か月	72,000円	15%	61,200円
10か月	80,000円		68,000円
11か月	88,000円		74,800円
12か月	96,000円	20%	76,800円



H U M A N N O W



がんばってます

No.335

私が八木節に出会ったのは、40代後半。友達から、「一年を取ったときにできる趣味を作ったほうが良い。八木節なんてどうだい」と薦められたことがきっかけでした。

練習を始めると、鼓、太鼓、笛といろいろな楽器ができるようになり、八木節の魅力にどんどん引き込まれていきました。特に八木節の音色は魅力的です。楽器の音がそろい、きれいな音色が出たときの気持ち良さはたまりません。

そして約30年前に、地元7区に公民館ができるのをきっかけに、今の会の前身である八木節「七酔会」を発足。



自ら演奏に参加しながら指導を行う師匠(写真左が山本さん)

八木節の音色を聞くと日本人の血が騒ぐよ

その後、「7区の粋な人たちが粋な活動をしている会」ということで「七酔会」に改名し、今に至ります。

初めは、大人たちだけの八木節でしたが、途中からは、子どもたちも参加してくれるようになり、子ども八木節も始まりました。やはり、子どもたちが伝統芸能に触れてくれることはとてもありがたいこと。だから、私たち指導者も「伝統芸能を伝えていこう」と思いを込めて指導しています。

けれど、時間は限られています。子どもたちは小学校卒業と同時に引退が訪れます。しょうがないと分かっています。

も、毎回とても悲しい気持ちになります。今まで何人も子どもたちを指導してきましたが、このときがいつも寂しい瞬間ですね。

けれど、その子たちが、大人になったとき「また八木節やりたいな」とか「子どもにやらせたいな」と思ってくれたら、私はうれしいです。

私も体が動く限りは、続けます。もし、八木節に興味がある人は、7区の公民館で待っています。そして、1月27日には邑楽町の伝統芸能フェスティバルが行われます。まずは、見ることから「八木節」に触れてみてください。



山本 弘志さん
(上下西宿・7区)

やまもと・ひろし●1941年生まれ。七酔会会長。40代後半のときに「八木節」に出会い、足利市南大町で神楽や八木節の活動を行う。その後、平成6年に七酔会を結成後から会長を務める。会のメンバーや子どもたちからは「師匠」というあだ名で親しまれている。



おうらの仲間たち No.353

● 卓球会 ●

卓球会は、約20年以上続く卓球サークルです。ここでは普通の卓球より大きい(ラージ)ボールを使用する、新卓球という競技を行っています。現在は、60~80代のメンバー約40人で活動中。少し高齢化が進んでいますが、それを感じさせないくらい元気に活動しています。活動には常時15~20人くらいが参加。健康のためにと熱心に卓球の練習に励み、いい汗を流しています。卓球会のモットーは「楽しく技術を磨くこと」。メンバーの中には、館林や太田などの地区大会に出場している人も。また、会独自で毎年11月と3月に大会を開催しています。卓球はボールの回転を考えながらプレーするので、頭も使うスポーツです。計算通りに打てたときは、とても気持ちがよいです。これからも魅力ある卓球をみんなで楽しんでいきたいです。

活動日 毎週金曜日
時間 午後1:00~3:00
場所 ヤングプラザ
問合先 ヤングプラザ☎89-1501



FRIENDS